

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名： 第2グループホーム愛生

作成日： 平成22年12月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の議事録など参加していない家族や来訪者が確認する方法がない。	家族・来訪者がいつでも運営の状況を知ることができる。	運営推進会議議事録や、活動状況をファイルにまとめて玄関に常設するようにつとめる。	12ヶ月
2	6	エレベーターを利用できない時間帯・玄関施錠の時間帯を家族に再度説明する必要がある。また、身体拘束マニュアルが整備されていない。	ご家族や来訪者が施錠する時間について納得できる。	身体拘束マニュアルを作成し、家族への説明をする機会をもうける。	12ヶ月
3	35	災害対策として消防署参加の訓練を実施していない。また、火災以外の災害マニュアルや訓練・食糧などの備蓄の準備がない。	消防署参加の災害訓練を行う。食糧の備蓄ができる。	消防署へ協力を要請して消防訓練を実施する。インスタントラーメン等の備蓄を行う。	12ヶ月
4	36	尊厳・守秘義務に関する研修会を職員に対して実施できていない。	権利擁護・守秘義務について、すべての職員が理解・実践できる。	権利擁護・守秘義務についての研修会を行う。	12ヶ月
5	45	温泉はあるが、もっと楽しめる工夫ができるのではないか。(例えば、ゆず風呂や大浴場を利用できるのではないか)	風呂を、より楽しむことができる。大浴場に入浴することができる。	冬至にゆず湯を実施する。個別ケアにて大浴場を利用して入浴を実施する。	12ヶ月
6	54	居室内に馴染みの物品の持ち込みがやや少なく、掲示物もすくない。居心地のよい空間づくりへ工夫する。	居室内に馴染みの物品が増える。	居室内に若かったころの写真・家族の写真を飾る。	12ヶ月
7	52	目的に応じたBGMの検討(学習療法時に演歌がながれていた)	時間帯に相応しい音楽をきくことができる。	時間帯に応じた全館放送を行う。また目的別のBGMの選曲を定期的に行う。	12ヶ月
5	40	職員が食事を一緒に食べる機会がない。また、利用者の外食希望がある。	職員が検食することができ、食事サービス内容が向上する。	当番制にて職員と一緒に食事をとる。個別にラーメン屋・うどん屋など、なじみの食堂へでかける。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。